

新門司地区スポーツ施設 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月15日（火） 9：00～12：20
- 2 場 所 ミクニワールドスタジアム北九州 会議室5
- 3 出席者 （検討会構成員） 植田構成員、内田構成員、河邊構成員、
則松構成員、南構成員

（事務局） 都市ブランド創造局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、施設整備担当係長、
担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出

- 応募団体（特定非営利活動法人北九州フットボールクラブ）より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答
 - （構成員） サッカー専門の方が多いと思うが、ここ5年で、サッカーのビジネス、インターネットを通じた配信事業は、世界的にも変わってきており、特にヨーロッパのサッカーが大きく変わっていると思うが、今後サッカーはどう変わっていくのか、その中で門司の施設がどうあるべきなのか、未来的なお話を聞かせてほしい。
 - （応募団体） なかなか簡単に答えを出せる質問ではないが、サッカーの世界の動きというのは、スポーツのビジネス化の潮流を牽引していると考えている。また競技団体を構成するメンバーについても、競技者歴や指導者歴での構成ではない仕様が変わってきていると認識している。
 - （構成員） 管理運営を行っていく上で、安定的な人材の確保が大事なところだと思うが、ボランティア精神で貢献してくれる人に恵まれているということと、あと人件費をこれまでほとんど上げてきてないといった記述が見られた。そういうボランティアの方々がなくなった際、人材の確保は問題ないのか。
また、職員対応満足度のところで、令和5年度だけ少し他に比べると数字落ちており、接客マナーの改善といった説明も出ていたが、具体的にこの年だけ問題があったのか教えてほしい。
 - （応募団体） 北九州市にJリーグのクラブを作るために発足した団体が、我々、北九州フットボールクラブである。発足時は3名で活動しており、

人件費については、当時と変わらない額での運営を行ってきた。しかしながら、時代の流れに合わせ、今後については人材確保も含め、検討していきたいと考えている。

令和5年度の職員満足度の大幅な低下については、庭球場の老朽化による補修で施設が使えない時期があったことが主な要因なのではないかと考えている。また、利用者からのお尋ねに対して丁寧な受け答えを行っているが、時として利用者に対し感情的になる部分があったかもしれない。今回下がった数字については、気に留めており、改善していくべき課題であると考えている。

(構成員) 駐車場が不足して問題になるとあるが、赤いライン内で駐車スペースが100台とれるのか、また年に何回くらいあるのか教えてほしい。

(応募団体) 横が75m、縦の赤い線が200m、車の幅を2mでちょっと余裕を考えて3mで計算したら、ほぼ80~100台は駐車できる。回数としては年に5~6回ほどある。

(構成員) それでも駐車場がいっぱいになるのか。

(応募団体) 近年ギラヴァンツ北九州の公開練習や公開トレーニングマッチを行う際や、施設内で大会が重なるときにはご質問のような現象が起きる。容量を超える駐車台数が見込まれるときは、事前に確認ができるため、現状なるべく早く対応している。

新門司施設は公共交通機関から30分以上かかる場所に位置しており、集客に対する提案を増やしても、駐車場の課題があるため、対応策については試行錯誤しながら考えているところである。

(構成員) 今後5年間に向けて、特に強調していきたいこと、またやりたいことをどのように取り組んでいきたいと考えているか。

(応募団体) 2面ある天然芝の球技場をギラヴァンツ北九州が利用することが多いため、別のサッカー団体やラグビー団体等から施設の予約が取りづらいといった苦情を多く受けていることが現状である。

これからの運用については、各団体の要望をくみ取り、ご納得いただけるような運用を目指していく。また利用者だけでなく、観客や来場者に寄り添った提案、例えばギラヴァンツ北九州の選手との交流等を計画していきたいと考えている。

○ 応募団体 (特定非営利活動法人北九州フットボールクラブ) 退出後に各構成員が採点

○ 応募団体 (スポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体) よより提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答

(構成員) 新門司施設は、利用するほとんどの方が基本的に車で移動してくることになると思うが、利用者のソフト事業によるマーケットをどれくらいで想定しているのか。

(応募団体) 社会人向けのリーグやスクール等であれば、移動で1時間程度、利用時間でおおよそ2時間ぐらいを想定しており、仕事終わりの

利用者にも寄り添った計画を予定している。利用者については北九州地区に限定せず、福岡県や佐賀県の方にも呼び込みを行い、開始時間の調整を行いながら、多くの利用者で構成された大会を想定している。

(構成員) 広報やPRをかなり強く書いているが、支出の内訳を見ると、広告宣伝費の数字が見当たらないが、そういった数字は特別に確保しているのか、またお金をかけずにやるということなのか教えてほしい。

(応募団体) 広告・宣伝等は、SNSやホームページで十分人が来ると見込んでいる。SSB社の赤星はJリーグに在籍しているということで、佐賀県と福岡県では認知度が高く、広報については他社よりもアドバンテージがあると考えている。そのため、佐賀県のサッカーチームやスポーツ施設に対して、SNS等の拡散がかなり期待でき、紙媒体の支出を抑えられると考えている。

また1回来ていただいた利用者に対し直接アプローチを図り、QRコードを設置し、利用者やプレイヤー以外の観客、また保護者に対しても積極的な声掛けを考えている。

(構成員) 新門司マリーナとの連携についてもう少し詳しく教えてほしい。

(応募団体) 新門司マリーナは施設に隣接しているが、現在、連携がうまく取れていないと感じている。新門司マリーナと協議を行い、レストランの設置を予定しているということで、大会やリーグ戦後、交流の場として使っていただきたいと考えている。またヘリポートが設置されており、緊急時にはドクターヘリの使用も可能であり、今後実現可能性に向けた協議を行う予定としている。

また、新門司マリーナの駐車場を無償の使用許可をいただいているので、今後大きな大会も誘致しやすくなると考えている。

(構成員) 今回新たな指定管理ということで、ここは引き続き一生懸命やっていきたいところや、逆にこういうところは改善していききたいところがあれば教えてほしい。

(応募団体) 引き続きやっていきたいところについては、芝生管理であると考えている。現在の運用は非常に丁寧であり、適切な管理がされているため、弊社が任された時には、芝生が荒れて駄目になるということがないように徹底していきたい。我々も芝生のノウハウを持ってはいるが、同業者である横の繋がりを生かし、プロのスタジアムのピッチを管理している会社と連携し、アドバイスをいただきながら管理水準の維持を考えている。

子供たちのサッカーをはじめ、スポーツを行う子供が増加していると考えている。スポーツ利用者が増加する反面、人工芝や天然芝でサッカーができる環境は整っているが、予約がなかなか取れない問題もあり、週末に関しては、中体連、高体連、社会人、プロサッカー、アマチュアが使っており、小さな町クラブのサッカーが使えないのが現状である。

通常的に使えるのは難しいかもしれないが、平等利用、いろいろなカテゴリーや障害者も含めたいろいろなスポーツ大会の実施を検討している。

また、北九州市のサッカー指導者から、場所がないという要望を聞くことが多いため、施設の積極的な PR や企業さんと連携したスポーツイベントや地域おこしの提案を行っていきたいと考えている。先日、行橋市のビーチサッカーに 5000 人が集まったことから、新門司施設もスポーツを通じて、多くの利用者が集まる場所にしたいと考えており、施設の価値をパワーアップできると考えている。

(構成員) 業務の役割分担のところで SSB が施設保全業務とスポーツ器具の保守管理業務を担われる分担となっているが、業務の概要等を拝見したが、どういうノウハウを生かし、あるいはどういうやり方で業務をやっていかれるのか教えていただきたい。

(応募団体) 弊社は、佐賀県佐賀フットサルクラブという今期 18 周年を迎えるフットサルコートをサポート事業をしており、芝生の管理や、ボール、レンタルシューズ、ビブスといった備品の管理をしているため、現段階で施設の改修や付随するテニスコートの管理については問題ないと判断している。

(構成員) 現時点では、来シーズンからサガン鳥栖とギラヴァンツ北九州が同じカテゴリーに所属する可能性があり、利益相反的なことが生じるとの誤解を受ける可能性があるのではないかと考えている。SSB の本業と指定管理業務の明確な切り分け等があるかその辺りを詳しく教えてほしい。

(応募団体) サガン鳥栖と直接的な営業の代行代理店の契約を行っているが、チームの強化や編成については SSB 社としての業務ではないため、両クラブのエンブレムがちらつくような形にはならない考えである。

(構成員) 北九州市におけるサッカーの状況、またこの施設のあるべき姿について考えていることがあれば教えてほしい。

(応募団体) ギラヴァンツ北九州の練習会場であるため、安定した環境整備が必要だと思っている。また多くの子供たちが北九州市から世界に羽ばたいていけるような施設になればと考えている。

○ 応募団体 (スポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体) 退出後に各構成員が採点

○ 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

○ 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

（構成員） 北九州フットボールクラブの提案には未来志向のものがなかった。一方で、スポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体は、実現可能性の面で懸念があったが、点数では北九州フットボールクラブよりも高かつけた。一緒にやればお互いの弱点を打ち消せるためのいいのではないかと思った。

（構成員） 北九州フットボールクラブは実績もあり、施設の課題に対して具体策がでているところを評価した。高齢化やボランティアに頼るところがやはり大きく、持続性の面で課題を感じた。スポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体はユニークな提案もあり魅力的であったが、新門司施設に沿った提案であったのかどうか、また情報発信、PRの強化を強調している割に、幅広い年代の人たちに届くような策が足りてないように感じた。いい取り組みをしても伝わらない可能性を感じこちらの点数を低くした。

（構成員） 新門司施設は芝生の管理が極めて重要な部分であり、北九州フットボールクラブは、その点安定的な取り組みが期待できる提案であった。しかし未来志向の提案が不足していると感じた。スポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体に関しては、多くの芝生のある施設を管理しているが、競技スポーツレベルのスポーツ施設の芝生の管理は、基本的に実績の部分も少し不安を感じた。提案については意欲的で面白い部分はあるが、施設保全やスポーツ器具の管理の面でSSBが担うことについて、実績のなさを感じたこともあり、北九州フットボールクラブの点を高かつけた。

（構成員） 北九州フットボールクラブは、これまでの実績もさることながら、こちらに任せたほうが安定した運営が期待できると感じた。ただし構成される方が高齢化しているため、SNSを使った発信などがもう少し提案の中に入っていればよかったと思う。

スポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体は、興味深い提案があるとは思ったが、全体的な評価として私は前者を選んだ。

（構成員） 新門司の施設をギラヴァンツ北九州のための施設なのか、市民のための施設なのかが両者のプレゼンの大きな違いだと感じた。北九州フットボールクラブは10年近く管理していたこともあり、満足度も低下しており、かつ保守的であり、面白みを感じなかった。

それに対して、当然いろんな不安はあるが、新しい風を吹き込む意味でもスポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体を選んだ。

- (構成員) 得点は極めて僅差であり、選ばれなかったスポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体についても優れた提案であった。
- (構成員) 地元企業であることによる点数の加算がこの後行われるかと思うが、どういう感じになるのか教えてほしい。
- (事務局) 北九州フットボールクラブ、スポーツコミッション SHINMOJI 共同事業体の主体に関しては岡崎建工になりますので、両者とも市内企業扱いになるため、同じ 5 点加点になる。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。